

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表
(評価対象年度:令和7年度)

<施設概要>

施設	総合体育館
施設の設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与する
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
指定管理者	公益社団法人調布市スポーツ協会
所管部署	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課

<施設所管部署における全体総括>

令和7年度は、調布市制施行70周年及び調布市総合体育館開館40周年という節目の年度であり、市民とともに積み重ねてきたスポーツ振興の取組を振り返るとともに、次の時代を見据えた事業展開を進める年度として位置付け、各種事業に取り組んだ。

事業運営においては、各種事業を通じて、市民がスポーツに参加する機会の充実を図った。また、施設管理においては、安心・安全・快適な環境の確保を最優先とし、管理体制の強化を図りながら、緊急時対応の徹底、施設の耐震化および各種設備の計画的な点検を継続的に実施した。

その他、施設の認知向上と利用促進を図るため、広報ポスターや施設紹介動画の作成など、利用者目線に立った情報発信の充実に取り組むとともに、地域清掃活動や市内中学生の職場体験受入れを実施し、地域との連携強化および次世代育成にも積極的に取り組んだ。

こうした取組の結果として、令和7年度は総合体育館の利用人数、利用料金収入ともに目標値を達成し、市民の運動機会の確保と施設利用の定着が進むとともに、施設利用者からは利用者満足度で非常に高い評価をいただくなど、市民ニーズに寄り添った事業の実施及び施設の管理運営を行うことができていると考えられる。

総合評価	A
-------------	----------

総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

<係数>
s→10
a→8
b→6
c→4
d→2

各視点に基づく評価の
係数合計を算出

<総合評価基準>

S(特に優れている)
→42 ～ 44 (かつ各視点で c 評価が無い)
A(優れている)
→36 ～ 41(かつ各視点で d 評価が無い)
B(良好)
→26 ～ 35
C(要改善)
→16 ～ 25
D(要抜本的見直し)
→10 ～ 15

<施設の過去3箇年の主な管理実績>

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	10万685人	15万1588人	17万4530人
事業参加者数	3万7841人	4万8941人	5万4846人
貸出施設稼働率	66.17%	84.78%	85.62%
指定管理料(市決算額)	1億2937万1235円	1億5937万7328円	1億6068万1477円
利用料金収入	2190万3610円	3172万4440円	3511万6090円

<施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)>

業務の実施体制	確認項目	確認欄
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	☒ 有(更新) ☐ 有 ☐ 無
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	☒ 有(更新) ☐ 有 ☐ 無
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	☒ 実施 ☐ 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など ・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(b~d)
	市との定期的なモニタリングの実施のほか、日常的に連携を密にとっており、適宜必要な情報共有や緊急時における連絡体制もしっかりと図られている。 個人情報については、個人情報保護に関する法律の改正に対応し、新たに整備した規程等に沿って適切に個人情報の保護に努めたほか、個人情報取扱従事者資格更新講座を受講し、個人情報の保護及び情報漏洩防止のため必要な知識の習得と、他の職員・スタッフへの周知の徹底が図られている。 また、防災面でも訓練の実施や施設管理に必要な研修の受講等、施設の安全・安心な運営のため、職員の育成も図られているほか、令和3年度に市と締結した「災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定書」に基づき、災害時におけるボランティアセンター等の設置に関わる準備を進めるとともに、防火・防災など様々な緊急事案に対応するべく訓練を重ねている。	b

評価の目安(b~d)

b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。

c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。

d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	☒ 実施 ☐ 未実施
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	☒ 不具合等有(3件(うち対応3件)) ☐ 無
	備品の適切な管理(台帳との照合)	☒ 実施 ☐ 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応、感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など	
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価(a～d)
	施設・設備の不具合等については、市への報告及び迅速な対応ができており、令和7年度は保守点検時の不具合件数3件に加え、突発的な修繕を26件実施した。 防犯対策の面では、館内スタッフによる巡回や貴重品ロッカーの利用を促す案内を継続して行った。また、盗難予防のため各更衣室の巡回を継続的に実施した。 防火・防災管理面では、一連の訓練を専門業者と連携し、地震や火災を想定した各種訓練、体験型訓練、職員だけでなく施設利用者を含めた防災セミナーなどを開催した。 利用者の安全確保に向けては、指定管理者として、施設賠償責任保険と行事賠償責任保険といった必要な保険に加入している。	b

評価の目安(a～d)

- a:施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。
- b:施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。
- c:施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
- d:施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

サービスの提供	確認項目	確認欄
	計画した事業(サービス)の実施	☑計画どおり ☐一部未実施 ☐多くが未実施
	利用者数の状況(前年度比較)	☑前年比5%超増 ☐同水準(±5%) ☐前年比5%超減
	貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	☐前年比5% [※] 超増 ☑同水準(±5% [※]) ☐前年比5% [※] 超増
	新たなサービス(事業)の実施	☑有(3件) ☐無 主な実施内容: ・ラン&フィットエアロビクス ・指導者向け講習会 ・総合体育館40周年記念事業(オリエンテリング体験会、CHOFU うんどうプロジェクト)
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	☐有(件) ☑無 主な実施内容:
	職員の接遇態度(言葉遣い、態度、服装、問合せへの対応等)	☑優れている ☐普通 ☐要改善
	<評価におけるその他の視点> ・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供 ・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施 ・協定書等に基づく施設の開館日、開館時間の遵守 ・利用申請等に対する迅速な対応 ・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供 ・苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告 ・施設の利便性向上・利用促進に関する取組・利用者満足度アンケート調査等の結果 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(s~d)
	令和7年度は、総合体育館の利用者数及び利用料金収入が前年度を上回ったことにより、目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた令和2年度以降において、最も高い水準となった。利便性向上を目的とした1時間15分個人利用設定は2年目となり、従来の2時間30分利用との利用動向が予測できない部分もあったが、利用形態が定着したことで回転率が向上し、利用促進につながった。 市民ニーズを把握するためのインフォメーションプログラムとして、ふれあい連絡カードによる意見収集を随時行い、利用者の意見や要望を的確に把握するとともに、対応内容や質問に対する回答を専用掲示板に掲示し、施設の運営・改善に役立てた。各種プログラムに関する情報提供については、ホームページやメールマガジンを活用し、積極的な情報発信に努めた。また、新たにホームページ内に360度パノラマページを設け、体育館内の各施設や動線をPCやスマートフォンから立体的に閲覧できる環境を整備することで、利用前の理解促進を図った。あわせて、都内のジム・フィットネス・スポーツクラブ検索・比較サイトへの掲載や、Google検索内の調布市総合体育館情報を積極的に更新・活用し、認知向上に努めた。 それらの結果、利用者満足度は、「非常に満足」56%、「満足」43%で合計99%となり、利用者への適切なサービスが提供されていることがわかる。	a

評価の目安(s~d)

s:サービスの提供(施設利用、事業実施など)について、特に優れた実績がある。

a:サービスの提供(施設利用、事業実施など)が適切に実施され、かつ、前年度実績を上回る実績が複数あるなど、優れた実績がある。

b:サービスの提供について協定書等の内容に基づき、概ね適切に実施できている。

c:サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され、一部改善を要する点がある。

d:サービスの提供について、抜本的に改善が必要なものがある。

財務 の 状 況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	☐ 計画比+5%超増 ☐ 同水準(±5%) ☒ 計画比-5%超減
		支出総額	☐ 計画比+5%超 ☒ 同水準(±5%) ☐ 計画比-5%超
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		☒ 前年比5%以上増 ☐ 同水準(±5%) ☐ 前年比5%以上減
	収入確保や経費縮減の取組		☒ 有 ☐ 無 主な取組内容: ・ロビー・ラウンジの照明を安全な範囲で消灯 ・事務室内の間引き照明
	<評価におけるその他の視点> ・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備) ・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など		
	施設所管部署の総括(上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
	総合体育館の利用者数は17万4530人となり、令和6年度と比較して2万2942人の増となった。その結果、利用料金収入は3511万6090円で、令和6年度利用料金収入額3172万4440円に比べて、339万1650円の増となった。 利用料金は、都度集計し即時に金融機関へ納入することで、事務所に多額の現金が長時間留まらないようにしている。さらには、現金保管及び金融機関までの現金輸送時の不測の事態に備えた現金動産保険に加入している。また、所管部署との月1回のモニタリングの際に、適切な会計事務の実施状況について報告を受けている。		a

評価の目安(s~d)

s:収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。

a:収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。

b:収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。

c:収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。

d:収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

その他	確認項目	確認欄
	地域等との連携による取組の実施	☒ 実施 ☐ 未実施 主な実施内容： ・スポーツ指導者の育成事業 ・調布市スポーツボランティアの活用 ・障害者スポーツ事業の実施
	地域貢献活動の実施	☒ 実施 ☐ 未実施 主な実施内容： ・避難所体験イベント ・地域への目的外の施設開放 ・施設周辺の清掃活動 ・中学生の職場体験の受け入れ
	<その他評価の視点> ・省エネルギー、省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など	
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価(s～d)
	地域におけるスポーツ振興、コミュニティの拠点となることを目的とした地域への目的外の施設開放や、中学生職場体験の受入れを実施した。また体育館周辺での清掃活動等について、随時実施し地域との連携を図っている。 「調布市障害者スポーツの振興における協議体」に参加し、市内の福祉関係団体と連携を図り、障害者スポーツの振興に前向きに取り組んでいる。さらには、「調布市×FC東京まちづくり実行委員会」にも参画し、青赤ストリートへ連携して取り組み、官民連携したスポーツ振興と地域活性化に貢献している。 節水や節電を常に心がけ、光熱水料費等の削減に取り組み、地球温暖化などに対する環境に配慮した管理運営に努めた。気温や湿度の変化など、日々の環境変化に柔軟に対応し、利用者が安全に、気持ちよく利用できるよう努めた。 体育館エネルギー消費量について、調布市環境システム「調布市地球温暖化防止対策実行計画に伴う市有施設における二酸化炭素等排出量調査」に基づく報告資料を調布市へ提出すると同時に、職員においても、節減に取り組むよう努めた。 障害者プログラムとして、「転倒予防のための体操教室」「障害者スポーツ事業 スポーツをやってみよう」を取り組む中で、定期的に個人利用ができるよう障害の状況に応じた内容や用具等を工夫するなど、施設のバリアフリー整備及びスタッフの心のバリアフリーを進め、身近な地域で日常的にスポーツに親しめる環境づくりに努めた。	a

評価の目安(s～d)

s: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、特に優れた対応が見られる。

a: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、優れた対応が見られる。

b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。

c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。

d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について、抜本的に改善が必要なものがある。

<指定管理者における全体総括>

令和7年度の施設管理においては、安心・安全・快適な環境の確保を最優先とし、管理体制の強化を図りながら、緊急時対応の徹底、施設の耐震化および各種設備の計画的な点検を継続的に実施しました。防犯面では、館内スタッフによる巡回や更衣室の定期確認、貴重品ロッカー利用の周知を通じて盗難防止に努め、利用者が安心して施設を利用できる環境整備を推進しました。防火・防災対策としては専門事業者と連携し、地震や火災を想定した各種訓練や体験型訓練、防災セミナーを実施することで、職員のみならず利用者を含めた実践的な対応力の向上を図りました。なお、これらの訓練には大会開催中の調布市バドミントン連盟大会参加者も参加し、施設利用者を含めた実効性の高い訓練機会を確保しました。

加えて、コンプライアンスを基本とした適正な施設運営を徹底し、モニタリングを通じた行政との情報共有により、透明性と信頼性の高い管理体制の確立に努めました。

また、開館40周年という節目を迎えたことを契機に、施設の設置目的や地域における役割を改めて見直すとともに、これまでの運営ノウハウを活かし、少数精鋭の職員体制による専門性と効率性を両立した施設管理を推進しました。

さらに、施設の認知向上と利用促進を図るため、広報ポスターや施設紹介動画の作成、ホームページにおける360度パノラマページの整備など、利用者目線に立った情報発信の充実に取り組みました。これにより、初めて利用する市民に対する理解促進と利用機会の拡大につなげることができました。

あわせて、地域清掃活動や市内中学生の職場体験受入れを実施し、地域との連携強化および次世代育成にも積極的に取り組みました。

東日本大震災以降継続してきた防災訓練や各種対応マニュアルの整備では、職員一人ひとりの危機管理意識と災害時における初動対応力の向上を図り、利用者の安全確保を最優先とする体制の強化を進めました。

これらの取組の成果として、当年度に掲げた活動目標については、利用状況や収入、各種事業の参加状況および満足度に関する指標のうち、5つの数値目標のうち4項目において目標を達成し、施設管理運営全体として安定的かつ良好な成果を上げることができました。